

コストがわかれば 建築が見える！

建築コスト管理士

「建築コスト管理士」とは、企画・構想から維持・保全、廃棄にいたる建築のライフサイクル全般に渡って、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識及び技術を有する専門家です。

英国王立チャータード・サベイヤーズ協会（RICS）会員にダイレクトエントリーし、国際的に活躍している「Chartered Quantity Surveyor (QS)」称号取得が可能な資格です。

なお、建築コスト管理士資格登録には、当協会個人正会員であることが条件となります。

当年度の試験詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

建築積算士

「建築積算士」とは、建築生産過程における工事費の算定並びにこれに付帯する業務に関し、高度な専門知識及び技術を有する専門家です。

建築工事分野の数量算出、工事費算定に関する知識と技術について毎年試験〔一次試験（基本知識に関する問題）と二次試験（実務知識に関する問題）で構成〕が実施されます。学生向けには、「建築積算士補」資格があります。

当年度の試験詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

技がある 知がある 人がある

公益社団法人日本建築積算協会は、日本で唯一の建築プロジェクトのコストマネジメントに携わる人びとが集まった団体です。発注者、設計事務所、建設会社、CM会社、積算事務所、専門工事会社、行政機関、学識経験者といった幅広い分野でコストマネジメントを実践し、あるいは統括している人びとが、個人会員として参加しています。

日常の仕事においては、それぞれ異なった立場に位置する会員が、コストマネジメント技術の向上という目的に向かって、ベクトルを合わせて様々な活動に取り組んでいます。日本建築積算協会は、多くの人びとの出会いの場であり、相互の刺激や自己研鑽などの有効なコミュニティとなっています。日本建築積算協会の活動に参画することにより、人脈が拡大し、また視野の広がりや様々な情報を得る機会が増えるなど、仕事の環境が進化します。

日本建築積算協会は、建築コスト管理士、建築積算士、建築積算士補という資格認定および学校教育等の人材育成事業を中心として、社会に貢献する活動を展開しています。ここには、建築に欠かせない確かな技術があります。建築の数量とコストに関する最新の知識があります。さまざまな分野で活躍している優秀な技術者がいます。技、知、人、この三位一体で、建築界と社会に貢献すること。それが、日本建築積算協会の夢、そして目的です。

名称 公益社団法人 日本建築積算協会

設立 1975(昭和50)年 7月15日

会員種別 個人正会員
特別会員
賛助会員
会誌購読会員

会費 個人正会員 …… 入会金 2,000円
(学生は入会金なし)
年度会費 一般 …… 9,000円
65歳以上 …… 6,000円
学生 …… 3,000円
賛助会員 …… 10,000円
会誌購読会員 …… 4,000円
(消費税別)

●本部

〒105-0014
東京都港区芝3-16-12 サンライズ三田ビル
TEL 03-3453-9591 FAX 03-3453-9597
メールアドレス hp@bsij.or.jp

- 北海道支部 (北海道)
- 東北支部 (青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島)
- 関東支部 (東京都、新潟、長野、山梨、群馬、栃木、茨城、千葉、埼玉、神奈川)
- 東海北陸支部 (静岡、愛知、三重、岐阜、富山、石川、福井)
- 関西支部 (大阪府、京都府、滋賀、兵庫、奈良、和歌山)
- 中国四国支部 (鳥取、島根、岡山、広島、徳島、香川、愛媛、高知、山口)
- 九州支部 (福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)

積算協会

検索

公益社団法人 日本建築積算協会の情報は、インターネットのホームページでもご覧いただけます。

<https://www.bsij.or.jp/>

コストがわかれば 建築が見える！

BSIJ 公益社団法人日本建築積算協会
The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ)

日本建築積算協会は 3つの事業を推進しています。

近年、建設環境の変化から、建築生産のさまざまな分野でコストの重要性が認識されるようになり、建築コストの専門家に対するニーズが一段と高まっています。日本建築積算協会は、この社会的な要請に対応するために建築コスト技術者の育成と技術向上に力を注ぐとともに、関連知識や技術の調査研究をおこない、社会に対して情報発信をおこなっています。また最近では、一般消費者をはじめ公的機関などから建築のコストに関する第三者評価が求められるようになり、日本建築積算協会は、日本で唯一の建築コストの公的な機関としてさまざまな相談に応じています。

1

人材育成 認定事業

学生から社会人まで、資格認定とキャリアアップを推進

日本建築積算協会は、建築コスト技術者の育成と技術向上（キャリアアップ）に力を注ぐとともに、資格の認定事業もおこなっています。また、グローバル化した社会経済環境をとらえ、海外各国との交流を積極的に推進し、世界に通じる若手技術者の育成にも努めています。

- 学校教育
- 社会人教育
- CPD（職能継続教育）
- 認定事業（建築コスト管理士、建築積算士、建築積算士補）



2

調査研究 情報発信事業

PCM（プロジェクト・コスト・マネジメント）を、国内外で推進

建築積算とは、建築生産活動の上流から下流までのすべてのプロセスにおけるコストに関与し、建築のものづくりにおいて機能と経済性のバランスを図り、社会にとって価値（バリュー）の高い建築物の創造に貢献する業務をいいます。日本建築積算協会は、建築積算をPCM（Project Cost Management：プロジェクト・コスト・マネジメント）と定義し、PCM関連領域の研究と情報発信を積極的におこなっています。PCMは、国際的にも活動が活発化しており、調査研究は海外にまでおよんでいます。

- PCM（プロジェクト・コスト・マネジメント）領域の研究
- 建築生産システムとコストの関連性研究
- 建築コストの解明
- 建築コスト関連知識の情報発信
- 海外関連情報の収集と分析



● 建築コスト関連書籍の出版

3

第三者評価 相談事業

建築コストの諸問題に対する相談事業を推進

建設環境が変化するなか、建築物のコストの妥当性や、品質や安全の確保が課題となっています。また、不当な建築コストに起因する訴訟も増え、一般消費者をはじめ、官民の発注者、受注者ともに多くの問題が発生しています。日本建築積算協会は、それらの訴訟や問題に対して、第三者性の高い公益法人の社会的使命として、建築コストに関する評価・相談事業を推進しています。

- 建築数量の算出あるいは評価
- 建築コストの評価
- 見積依頼、入札等の手続きに関する助言・支援
- 建築生産過程におけるコスト管理に関する助言・支援
- その他、建築プロジェクトの諸問題に関する助言・支援

